

年間活動計画を策定

～重点調査項目を決定～

総務厚生委員会

5月16日に総務厚生委員会を開催し、「平成29年度の主要事業の実績状況」、「平成30年度の主要事業の概要及び課題等」について、総務部・民生部から説明を受けました。

「交通輸送対策事業」、「筆の里工房事業」、「健康づくり・介護予防ポイント事業」、「国民健康保険事業」、「医療費適正化対策の推進」、「放課後児童健全育成事業」等について質疑を行いました。

また、今年度の活動計画を策定し、重点調査項目を決定しました。今後は、この活動計画に沿って重点調査項目を中心に事務調査を推進していくこととしました。

●重点調査項目

(1) 熊野町観光交流拠点整備構想計画について

観光交流拠点整備については、町の重要な観光拠点づくり整備であることから、色々な可能性を模索しながら調査、研究を重ね、委員会としての意見のとりまとめを行います。



◀拠点として整備される筆の里工房周辺

(2) 健康づくり・介護予防について

高齢社会においては、高齢者ができる限り健康を保持し、介護が必要となる状態にならないよう、健康づくりや介護予防に自ら取り組めるような支援が重要であることから、高齢者本人の心身機能の向上を図るための「健康づくり・介護予防事業」の充実について調査、研究を行います。



▲熊野町介護予防・ボランティア手帖「すこくま手帖」



▲町制100周年を記念して運動に関する意識付けとして開催されたウォーキング大会

なお、6月18日には「熊野町観光交流拠点整備構想計画の進捗状況」、「健康づくり・介護予防事業の取組状況」について、総務部・民生部から説明を受けました。

公園整備の概要や整備内容の概要、事業計画、シルバーリハビリ体操、熊野町の介護認定率について質疑を行いました。

熊野町議会議員定数等調査検討特別委員会

最終報告

平成28年9月15日の9月定例会において設置された熊野町議会議員定数等調査検討特別委員会の山野千佳子委員長から、調査、研究を終了したことが次のとおり報告されました。

～最終報告～

熊野町議会議員定数等調査検討特別委員会においては、議員全員により、熊野町議会の議員定数、報酬及び運営等に関する調査及び研究を合計9回行いました。

調査活動の経過

区分	開催期日	調査内容
—	平成28年9月15日	熊野町議会議員定数等調査検討特別委員会(議員全員で構成)を設置
第1回	平成28年10月24日	調査検討項目について
第2回	平成28年11月16日	議会改革の取り組みについて(各委員の意見まとめ)
第3回 ～5回	平成29年1月31日 平成29年2月29日 平成29年3月29日	調査表の取りまとめ結果について
第6回 ～7回	平成29年4月17日 平成29年5月30日	問題点の抽出および改善策について
第8回	平成29年8月30日	改善策、解決策および改革メニューについて
第9回	平成30年3月30日	改善策、解決策および改革メニューのまとめについて

報告事項

(1) 議員定数について

- 多数意見 現状維持とする。
理由：現状のままで、議会がステップアップしながらやっていけばよい。また、常任委員会を7～8名にし、活性化させることを検討する。人口が2万人を切る状況になれば、再度熟考することとし、人口維持に努力しながら、若い世代を育てていく。
- 少数意見 定数を2名削減する。
理由：現状、議会は町民や若い人たちに十分理解されていない。町民の意見を総合すると、人口減も考慮し削減すべきである。
- 少数意見 定数を2名増員する。
理由：多くの意見が出ることで、議会、委員会活動が活性化する。

(2) 議員報酬について

- 多数意見 現状維持とする。